

由木東住民協議会

アマチュア無線クラブ

会報

2019.2.10

市民センター祭り版



JQ1YLK

当クラブは、由木東地域のアマチュア無線を趣味とする仲間の会です。2005年に発足しました。免許を持っている方もいない方も、無線に興味のある方ならどなたでも入会できます。

「ふ～ん、でも・・・」



? 団地住まいでアマチュア無線だなんて・・・??

① 「大きなアンテナ立たないでしょ?」

→アマチュア無線というと「大きいアンテナ」を想像しがちですが、アンテナの大きさ(=長さ)は周波数で決まるものです。短波(HF)バンドのアンテナはやはり大きいです。

当クラブのメンバーも多くが団地住まいですが、ベランダや専用庭に垂直系のコンパクトなアンテナを設置して出しています。

もっとも、ベランダへのアンテナ常設が管理規約でNGな場合もあります。でも430MHzなど高い周波数なら、内蔵アンテナやスタンドを使って設営も可能です。

もし低い周波数の(=アンテナが長くなる)バンドに出たいなら、あとに出てくる⑤や⑦の方法で、JQ1YLKのクラブ局から出ることもできます。



② 「そもそも資格が必要でしょ? ハードル高いよ・・・」

→はい。電波という公共インフラを高出力で扱う以上、その基本的な知識が求められる、と思ってください。

入門の4級資格を取得する方法には2通りあり、

- (1) 講習会(2日 計10時間)を受講する方法と、
- (2) 国家試験を受験する(各地で毎月開催)方法があります。

	(1) 講習会	(2) 国家試験
開催頻度	東京に限れば 月に3～5回	東京に限れば 年4回
受験手数料	22,750円 (18歳以下は7,750円)	5,012円
合格率	約98%	約70%

受験勉強まで含めれば(1)の講習会を受けた方が、お金はかかりますが確実かも知れません。若い人なら文句なしで講習会です。小学生でも受かります。
(詳しくは で検索)

③ 「音が出てウルサイんでしょ？」

→電話だとマイクに向かって話すのでそうかも知れませんが、受信音はヘッドホンで聴けば問題ないです。さらに電信(トンツー)やデジタルモード(パソコンを使ったテレタイプなどの通信方式)での運用はほぼ完全に近い無音です。



④ 「モールスなんて覚えられないし、タイフも打てないよ・・・」

→モールス(電信)は3級以上の資格が必要ですから、4級を取得してからのステップアップといえますが、デジタルモードは4級の資格で運用できます。

また交信はあらかじめ決まった電文をやりとりすることがほとんどで、マウスクリック数回(タイピング操作無し)で済んでしまいますから簡単です。ですから英語を知らなくても、海外の人ともコミュニケーションが可能です。

⑤ 「免許取ったり無線機買ったりって、結構お金かかるでしょ？」

→430MHzのハンディ機なら新品で2万円以下で手に入ります。アンテナは自作すれば1000円でもできます。何しろケータイと違って通話料はかかりませんから、かかるのは免許費用と合わせてほぼ初期費用のみ。



またデジタルモードなど通信方式によってはパソコンを使うのでソフトウェアが必要ですが、たいてい無料ソフトです。(使っていないXPノートパソコンなどがあればベスト)

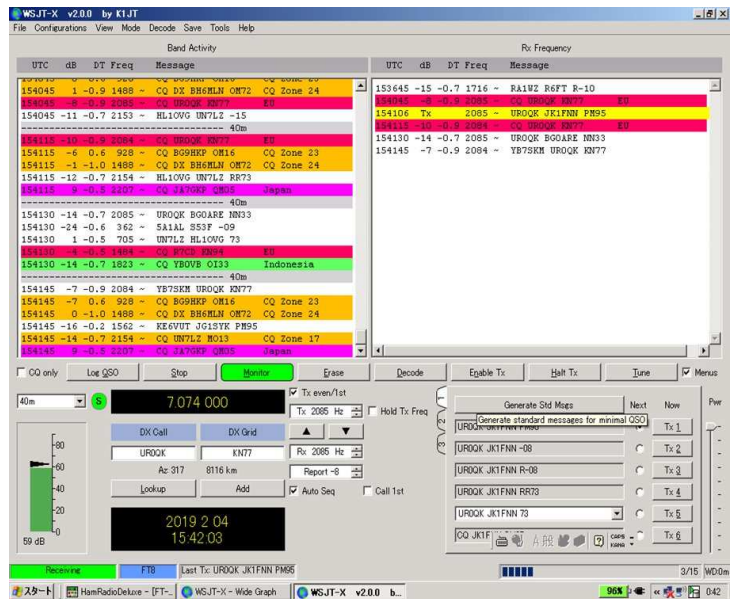
・・・それでもちょっと高いですか？ ならば『資格だけ講習で取得して、個人では開局せずに由木東無線クラブに入会。無線に出るのはクラブ室からだけ』・・・というのはどうですか？
 (これなら資格取得+従事者免許費用の1万円だけで済みます)



⑥ 「団地なんかからじゃ、海外と交信するなんてとても無理でしょ？」

→十分可能です、というか普通にやっています。これを書いている私自身、団地の1階住まいですが電信だけで200カ国と交信しています。

最近人気のデジタルモードの一つである「FT8」は4級でも使えて、小さいパワーでも電信よりもっとよく飛んでいます。団地に住むクラブメンバーもご近所～日本全国から南米やアフリカまで、いろいろな所と交信しています。



無線機にパソコンを接続し、変調/解読を行う
 今や代表的なデジタルモードの一つ「FT8」の画面

⑦ 「でも・・・結局はきっと家族が反対するよ・・・！」

→家族の使えない電気製品（無線機）+えたいの知れないケーブル、ベランダのアンテナはセンタク物干しにジャマだし、夜は夜でデジタルモードで家のパソコンを占領・・・となると、確かにあまり良い材料は確かにありませんね。

ならば家からやるのは430MHzで近所とおしゃべりだけ、と割り切って、根気よく家族の理解を得ながら、とりあえずは『たまの休日に市民センターの由木東無線クラブから、共用の無線機を使って思う存分無線運用する』なんていうスタイルはいかがでしょうか？ 気長に、気軽に考えましょう！

⑧ 「もうちょっと知りたい気もするけど、誰に聞けばいいの？・・・」

→メールで、jq1ylk@ham.nifty.jp までお問い合わせください。また、あまり更新はしていませんがHPもありますので参考にしてみてください。
 (<http://www002.upp.so-net.ne.jp/yugih/>)

また、松が谷のわれらの主治医、ドクター水谷が由木東無線クラブの会長です。きっと（手の空いている時なら）相談にのってくれるでしょう！

クラブの紹介

■八王子市由木東地区（鹿島・松が谷・大塚・東中野地区）を中心とした地域の、アマチュア無線が趣味の人が集まっているクラブです。

いまアマチュア無線の免許を持っていなくても、メンバーが国家試験の受験をサポートしますので大丈夫！そうして免許を取得したクラブ員もいます。

あなたも、スマホやネットとは違う、「自力で人とつながる」アマチュア無線をやってみませんか？

■設立 2005年8月 メンバー数25人（2019年1月現在）

■活動場所・・・由木東市民センター（八王子市鹿島111-1）2階印刷室

■活動内容・・・

（オンエアミーティング） 毎週日曜日 21:00～22:00 438.98MHz FM

（不定期の週末） クラブ室からの無線運用（海外・国内）、クラブで使うアンテナや機器の製作、災害時非常通信

（ごく不定期） 2011年にベトナムから特別局を運用しました。

（CQ誌にも活動が紹介されています）

（これから）

当クラブは、八王子市との間に「災害時非常無線基地局」として協定を結んでいます。阪神大地震被災直後はスマホもネットも使え

ず、アマチュア無線が数少ない遠距離通信手段として活躍しました。

その教訓を首都圏直下型震災に生かそうと研究をはじめています。

JQ1

Yugi-higashi

Local community

Kyougikai

<http://www002.upp.so-net.ne.jp/yugih/>

**ベトナム・ホーチミン市から
3W2REHを運用
現地HAMとの交流を深める**

JQ1YLK 由木東住民協議会アマチュア無線クラブ
JF1PNS 水谷 泰晴

■免許までの道のり
JQ1YLKメンバー最年長のJAIYV松永氏にベトナムでの無線局運用の可能性を示唆され、2011年11月、ついに運用が叶いました。
松永氏は1991年から公務でハノイに勤務。当時、ベトナムで個人がアマチュア局を開設することがほとんど認められない中、3年がかりで郵電総局、局長と交流。概ねよく説得し外国人（日本人）としては初めて、3W7JPのコールサインで免許が与えられました。
以後、ベトナム無線連盟会長のXV2A Bac Ai氏など現地のHAMとの親密な交流が実を結び、私たちJQ1YLKが3W2REHのコールサインでQRVする機会を得ることができました。

■ベトナム無線連盟の会長宅を訪問して運用
ベトナムに到着した翌日、松永

氏の縁で日本総領事公邸に表敬訪問。総領事からベトナムが日本に好意的なことなどをうかがいました。その後、Ai氏の自宅を訪ね運用（写真1、写真2）、8階屋上に立てられた7エレ・マルチハンダーとICOM IC-756PROという構成です（写真3）、21MHzでチューンをとってCQを出すと、コンディションもよくバイルアップに。午後はJH1AJ0 米田氏が日本とのQSOに励みました。

■クチで地元との交流、激しいバイルアップも経験
翌日、Ai氏の案内でホーチミン市郊外のクチを訪れ地下トンネルなどを見学。続いてクチの3W6REH Duc氏宅へ訪問。Duc氏は放送電気協会に所属し工業技術専門学校の学長を務めているそうです。ご

自宅からは30mのタワーに50MHzとHFマルチバンド・アンテナでQRVしています（写真4）。ここではベトナムのHAM仲間、歯科医師のXV2BとIT関連企業勤めのXV2T、そしてXV3AA (ex.3W3SK、JF1HJZ) 黒田氏（写真5）ともお会いしました。

ここでも運用の機会に恵まれましたが、既設のリグの調子が悪く、JA0ASO市川氏の意見で黒田氏が提供したICOM IC-756PROに交換し解決。この日のコンディションも良好で、JAとXV間のシグナルは互いに59+！激しいバイルアップで全員が大興奮。その後、Duc氏主催の昼食会で親睦を深めました（写真6）。

2012年、第15回IARU（国際アマチュア無線連合）第3地域総会がホーチミン市で開催されるとあって、皆さん張り切っていたことも印象的でした。de JQ1YLK (JAIYV、JH1AJ0、JF1PNS、JG1ISP、JE1QOK) (R)

写真1 XV2A Ai氏のシャックにて
写真2 オペレート中の筆者(右)とXV2A Ai氏
写真3 XV2A Ai氏のシャックの機器類
写真4 3W6REHのアンテナ
写真5 3W6REHのシャックとXV3AA 黒田氏
写真6 3W6REH Duc氏主催の昼食会

160 ham radio